

**総額
412
億円を認定**



屈託のないお風呂上りの子どもたち。笑顔のあふれるまちづくりが期待されるあま市（コミュニティプラザ萱津）

**歳入は59億
8565万円増加**

21年度決算は、
9月13日、14日の2日間の本会議と3つの常任委員会に付託され、
審議されました。
ここでは一般会計と9つの特別会計（企業会計は除く）の
歳入総額453億5206万円、歳出総額412億8840万円の決算の審査の
中から、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えます。

平成21年度各会計の決算

会計名		歳入	歳出	
一般会計		288億7164万円	255億2253万円	
特別会計	国民健康保険	91億1564万円	89億8388万円	
	土地取得	4726万円	4692万円	
	住宅新築資金等貸付	8378万円	239万円	
	簡易水道	3511万円	3320万円	
	町・市営住宅管理	9288万円	5912万円	
	老人保健	4786万円	3072万円	
	介護保険	保険事業勘定	38億4476万円	33億4953万円
		サービス事業勘定	1221万円	330万円
	公共下水道	21億1175万円	22億3268万円	
	後期高齢者医療	10億8913万円	10億2409万円	
合計	453億5206万円	412億8840万円		
20年度決算		393億 504万円	373億c668万円	

注) 合計欄は、各会計の端数処理により一致しません。

21 年度の一般会計の決算額（旧3町、あま市合計）は、歳入合計288億7164万円、歳出合計255億2253万円です。

予算の執行状況については、本会議での2日間と常任委員会での3日間とわたって慎重に審査。その結果、提案された決算すべてを認定すべき

した。20年度の旧3町合計の決算額に比べ、歳入では59億8565万円、歳出では37億7856万円の増加です。

ものと決定。29日に開かれた本会議で認定しました。

経常収支比率 他市と比べては

問 経常収支比率は、あま市として88%ですが、21年度は合併により、単純な計算ではなくて、旧3町の21年度とあま市を合わせて計算されています。75%以下が望ましいですが、近隣市の数字と比べてどうですか。

財政課長 20年度決算で、津島市が89%、稲沢市が87・7%、清須市が86・6%、愛西市が84・6%になっています。

企画財政部長 旧美和町が92・3%、旧七宝町が90・8%。硬直化がはじまっているのに対して、旧甚目寺町が79・3%。これを3町合わせると、88%です。

最近の少子高齢化などにより、当然扶助費や人件費などの経常的経費が増加し、通常であれば一般事業に充当できる経常一般財源の確保が難しく

なりますが、今後この比率が多少でも下がる努力をしていきたいです。

問 市の一般会計決算の現年課税分で、市民税、固定資産税、軽自動車税、この3つでいわゆる滞納額が3億2700万円余りあります。この3項目での収納率は何%になっていますか。また、収納率向上への改善策及び収納見込みはどうなっていますか。

総務部長 旧3町及びあま市として最終的な現年分の収納率をお答えします。市民税の個人は、約82・6%、法人は94・4%、固定資産税で約94・5%、軽自動車税で91・8%、全体で約90・8%です。

改善策は、例年やっています。大口滞納者、悪質滞納者に重点を置き、滞納整理の事務、滞納処分を効率的かつ効果的に、現年度未納分、早期納税折衝、納税相談による納付に努めています。また、本庁舎には、

宿日直者があり、平日夜間、土日も納税できる体制で、市税収入の確保向上に取り組んでいます。

保育料の減免 制度を作つては

問 保育料の未納額が約1000万円あります。各家庭の経済状況を調査し、昨年の所得に比べ大幅に下がった場合は、減免制度を作つてはどうですか。

子育て支援課長 滞納者には分納誓約を取り交わすなどの努力をしています。現在ある制度として、貧困、災害など、特別の理由がある場合は、保育料を減免することができます。調査をし、当てはまる場合は適用していきたい。

問 障害者福祉タクシーの助成制度はなくなったと聞きましたが、あま市になってからは、どうなりますか。

福祉部長 平成21年度までは旧七宝町、旧甚目寺町で実施してきました。市としては、心身障害者

扶助料に統合する形で扶助料を充実して対応することになりましたので、実施しません。



園児は、いつも元気いっぱい

万円、申請者全員が補助の対象でした。

問 障害児保育事業補助金10万円ですが、平成22年度予算に計上されていません。なぜですか。

子育て支援課長 実施要綱などが未整備のため、予算計上できませんでした。要綱が出来次第、補正予算で対応します。

問 旧美和町の国保税滞納による保険証未交付57世帯に対し、どのような対応をしましたか。

保険医療課長 滞納者に納付のお願いの案内ハガキを出し、窓口で相談を受け対応しています。本来、すべての人に保険証を交付すべきだと思います。窓口に来ていただけなかった方には十分な対応ができませんでした。

問 一般不妊治療費助成事業で補助した人数は。また、所得制限を設けず申込者全員に支給できますか。

健康推進課長 補助した人数は40人です。また、補助の所得制限は730

円です。



税務課の窓口

カーブミラー、危険な所への設置は

問 旧基目寺町の一般会計ですが、カーブミラー

の設置の予算が170万円、78万円使っています。住民は、交通事故などが多発し、危険なところなどに設置して欲しいと要望していますが、それに充分応えましたか。

土木課長 立替が3本、新設が8本、移設が1本、撤去が1本でした。区長とも相談をし、要望にできるだけ応えられるように努めています。

問 ヨシヅヤ電気館の西側にある道路が廃止され、大型店に代替えとして渡しますが、住民の生活道路をなぜ廃止するのですか。

都市計画課長 車による駅への送迎は、北口広場を利用していただきます。北口が新設されたのちに道路をそのままにし

ておきますと、多くの車が駅舎に殺到することが予想され、事故防止と住環境の安全確保のため、廃道にしました。

廃止となる道路



問 旧七宝町の一般会計で、昨今の雇用、社会情勢の中、労働費がほとんど残っていますが、強化する考えはありますか。

産業振興課長 10月から七宝庁舎で労働に関する窓口を開設する予定です。

す。

問 旧七宝町の下水道会計の下水道事業で、住民説明会に資料作成業務委託料、194万円かけていますが、どんな資料を作りましたか。

下水道課長 住民説明会用リーフレット、当初計画を立てる前に測量の説明会、工事用の説明会資料などに使いました。また、七宝は対象戸数が多かったので、金額も多くなりました。

問 旧美和町の一般会計の悪水路改修工事地元負担金ですが、どこを地元といて、どのような負担ですか。

土木課長 地元とは、今で行行政区、大字で、工事に対し5%を負担してもらいます。なお、合併に伴い廃止されました。

伊福小の屋上防水工事の内容は

問 旧七宝町の一般会計ですが、伊福小学校の北棟屋上防水改修工事の内容は。

学校教育課長 ゴム製の反射シートを使ったシート防水工法による改修です。また、外壁などの経年劣化による渡り廊下の改修及び、屋上のキューピクルの取替えも併せて行いました。

問 旧美和町の一般会計ですが、自殺予防啓発事業として、美和中学校で行った講演会の内容は。

学校教育課長 「命の大切さ」について、全校生徒に対し、講演会を実施しました。今年は、すべての中学校で実施予定です。

問 旧基目寺町の一般会計ですが、学校周囲水路環境整備工事の工事内容

は。また、今年8月に七宝町地内の用水路で2歳の子どもが亡くなるという痛ましい事故がありました。このようなことがないよう事故対策はとられていますか。

学校教育課長 基目寺小学校周囲の水路しゅんせつ、草刈り及び基目寺南小学校周囲の水路しゅんせつ、水路敷きのコンクリート張りです。また事故対策としては、学校の先方により、学校周囲の水路巡視などを行います。安全確保に努めています。



問 あま市の一般会計で、公民館などの利用予約は、パソコンにより予約することになっていますが、高齢者などパソコンが使えない人への対応はどうしていますか。

生涯学習課長 公民館などに来ていただければ、職員が説明しながら予約できるよう対応しています。

尾陽病院の欠損金、市民病院へは…

問 21年度のおま市病院事業会計の決算ですが、尾陽病院事業の未処理の欠損金が、20億円を超して、これがあま市の病院になり、帳簿上消えています。これは、尾陽病院が解散したからできた会計上の処理ですか。

市民病院事務局長 次年度に繰り越される利益剰余金、もしくは未処理欠損金はゼロ円となっています。これらは現金が伴ってなく、数字上の処理です。

問 帳簿上といえ、引き続きこれだけ赤字が発生したので、市の病院も、帳簿上で赤字として残すことは、できませんか。赤字を今まで補ってんしてきたので、市病院が利益を上げたら返してほしいですね。

市民病院事務局長 累積欠損金は過去の損失の記

市民病院として、再スタート



録であり、現在の資金繰りには全く影響を与えない数字です。欠損金のために資金的な対策を要しません。また、一般会計と違い企業会計は、損失

イコール現金の不足ではありません。減価償却費という現金を伴わない支出に代表されるような発生主義が、会計に存在す

るからです。減価償却費は、過去に購入した資産を耐用年数に基づき利用中の期間に、費用として割り振るものです。減価償却費が1億円計上されていても、1億円の借金を費やしたものでなく、資金は購入時点で既に執行しており、その後の減価償却費は経営成績を押しはかる計数上で、計上が必要なためです。

欠損金は、赤字ではなく、過去の欠損金の記録であります。病院経営、企業会計で必要なのは、資金的な面で、流動資産を流動負債が上回らないことです。これがもし上回った場合は、資金不足を起こしてきます。不良債務が発生していることになります。

合併によるスケールメリットを活かせるよう 行財政改革を推進し、健全な 財政運営を図りたい



本会議で決算審査報告をする
横橋俊一代表監査委員

書及び附属書類は、いずれも関係法令などに準拠して調整されており、計数は正確でした。また予算執行は適正に行われたものと認められました。基金の運用状況についても、計数は正確であり、適正に運用・管理されているものと認められました。

一昨年秋以降のアメリカの金融問題に端を発した世界的な経済危機により、あま市においても市税の減収など非常に厳しい歳入状況の中、歳出では生活保護費を含めた扶助費は増加傾向にあります。今後は収納率などの向上による財源確保に努め、合併によるスケールメリットを十分に活かせるよう行財政改革を推進し、健全な財政運営を図りたい。

決算審査意見書

各会計の歳入歳出決算

監査委員による決算審査は、7月26日から7月30日まで行われました。
本会議で報告された審査意見書の内容を要約してお知らせします。

旧3町からあま市への移行は、適正な処理がされていると確認しました。旧3町の特別会計の一部では打切り決算により赤字を計上していますが、合併後のあま市にて繰替流用金などの返済を終えた上で、さらに黒字へと転換しているため問題は無いと認めました。